



Rainbow

2010 秋号
(年2回3月・10月発行)

鹿児島市精神保健福祉交流センター(はーと・ぱーく) 広報誌

愛称「はーと・ぱーく」は、いろいろな方々の心(はーと)が集まる公園(ぱーく)のイメージをこの交流センターに重ねて命名されました。



特集

「鹿児島県における 精神保健福祉の窓口」

目次

- 02 特集
- 06 Get to know!!
- 07 講座・イベントの紹介
- 07 私の「おすすめスポット」-Vol.9-
- 08 Book Information
- 08 今後開催の講座・イベントのご案内

◀作 栗ちゃん

編集・発行 鹿児島市精神保健福祉交流センター(はーと・ぱーく) 指定管理者 株式会社 ア・ライズ 〒890-0063 鹿児島市鴨池2丁目22番18号 TEL (099) 214-3352 FAX (099) 206-8571

「Rainbow」の由来: 「R」は Respect (尊重する)、「A」は Advocacy (権利擁護)、「I」は Identity (独自性)、「N」は Network (ネットワーク)、「B」は Believe (信頼)、「O」は Opportunity (機会)、「W」は Will (意志、望み) を意味しています。この広報誌をたくさんの人達に読んでいただき、人と人をつなぐ Rainbow (虹) のような架け橋になること願って名付けました。

精神保健福祉交流センターでは、広報誌の表紙を飾る「Rainbow (虹)」をテーマにした作品を募集しています。詳しくは裏面の連絡先までお気軽にお問い合わせ下さい。皆様からのたくさんのご応募をお待ちしています。

鹿児島県高次脳機能障害者支援センター（鹿児島県精神保健福祉センター内）

平成18年4月1日に「障害者自立支援法」が施行され、高次脳機能障害者に対する相談支援は、市町村が行う「一般的な相談支援」および都道府県が行う「専門的な相談支援」に位置づけられ、県ではその支援拠点機関を鹿児島県精神保健福祉センターに置いております。

高次脳機能障害とは？

高次脳機能障害の多くは、交通事故等による外傷性脳障害や脳血管疾患及び低酸素脳症等が主な原因疾患となっています。

高次脳機能（大脳で営まれる様々な機能）がおかされた状態で、記憶の障害、注意障害、遂行障害、社会的行動障害などの認知障害を主な要因として、日常生活や社会生活への障害をきたします。

理解されにくい（気づきにくい）障害といわれています。

どういった支援・役割があるの？

- 高次脳機能障害のことを知ってもらう広報活動
- 高次脳機能障害に関する普及・啓発
- 専門的な相談活動
- 高次脳機能障害の研修活動
- 医療機関やリハビリ機関についての情報提供
- セルフヘルプ・グループの情報提供
- ※高次脳機能障害と診断されれば、「器質性精神障害」として精神保健福祉手帳の申請が出来ます。

相談方法は？

電話相談、来所相談
対象者 高次脳機能障害で悩んでいる当事者、家族、支援者 等
相談日 火、木、金曜日（祝日除く）
 9:00～12:00、13:00～16:00

お問い合わせ先 ●専用電話：099-252-3366
 鹿児島県精神保健福祉センター内
 ●鹿児島市都元3丁目3-5 ●TEL：099-255-0617

交通（バス停）都元バス停から徒歩1分
 （市電）都元電停から徒歩3分
 （JR）南鹿児島駅から徒歩10分*駐車場あり（約10台）

機関からのメッセージ

高次脳機能障害は、目にみえない、ただただわからない、だけれども生活をするときに気になることがあると思うので、そういった時には気軽に相談をしてもらいたいです。高次脳機能障害について病院のスタッフ等、様々な多くの人達にも理解をしてもらえたらと思っています。そうすることで窓口が広がると思います。
 当事者の方々は、深いところで悩まれているので日常生活のご相談、家族の方の悩みについても相談可能です。

かごしま子ども・若者総合

子ども・若者に関する相談に対し、適切な助言を行い、必要に応じて専門の関係機関・団体などを案内・紹介する総合相談窓口です。かごしま子ども・若者総合相談センター内に機能の一つとして「ひきこもり地域支援センター」を設置し、一体的に運用されています。

相談方法は？

電話相談、来所相談（要予約）、メール相談
対象者 不登校、ひきこもり、ニート、フリーターなどで悩まれているご本人、保護者、関係者
相談日 火～日曜日 10:00～17:00
 （毎週月曜日と年末年始（12/28～1/4）は休みです）

お問い合わせ先
 ●専用電話：099-257-8230
 ●メールアドレス：soudan-center@hello.odn.ne.jp
 ※メールによる相談は24時間受け付けていますが、返信には数日かかる場合があります。
 ※緊急な対応が必要なご相談や医療行為に当たるご相談には応じられません。

鹿児島県青少年会館内（2F）
 ●鹿児島市鶴池新町1-8
交通（バス停）県庁前バス停または県庁西バス停から徒歩5分
 （市電）都元電停または騎射場電停から 徒歩15分

*来所相談（要予約）の場合駐車場あり

どういった支援・役割があるの？

- 本人やその保護者等からの相談に対する助言
- 他の専門的な支援機関・団体への案内・紹介
- 自立支援に係る情報の収集及び提供
- シンポジウム、研修会、セミナー等の開催 など

機関からのメッセージ

相談センターは土日祝祭日も開けており、相談員の年齢も20代・30代・50代・60代と幅広く、悩みを持つ本人及び保護者の方々が相談しやすい体制を整えています。相談員は、相談者に対していくつかの選択肢を提案しながらともに考え、決して「こうしなさい」などの指示や決めつけは行いませんので、構えずお越しください。
 また、相談の秘密は確実に守りますので安心して御利用ください。
 なお、当センターだけでは解決が困難と思われる場合は、相談者本人の同意を得て、他の専門機関・団体を案内・紹介させていただきます。

「名前はきいたことあるけど…」「どんなサポートが受けられるの?」「こういう相談はどこにすれば…」
 そういう場面がありませんか?
 今回の特集は、県内にある相談窓口の中から、5つのセンターについてご紹介します。



自殺予防情報センター（鹿児島県精神保健福祉センター内）

県では、平成21年9月に自殺対策の技術拠点として、「鹿児島県自殺予防情報センター」を設置しました。センターでは、自殺に関する情報の収集・分析の他、自殺対策関係者との連携を図りながら、自殺者親族等への支援などを行います。

自殺予防情報センターとは？

平成10年以降、年間の自殺者が3万人を超え、鹿児島県でも約500人となっています。
 自殺の原因は複雑で、その背景にはこころや体の健康問題、経済・生活問題、家庭問題のほか、人生観・価値観や地域・職場環境など、様々な社会的要因が関係しています。
 このようなことから、自殺を個人的な問題として捉えるのではなく、「自殺する個人を取り巻く環境にかかわる問題」として捉え、社会全体で総合的な対策を行う必要があり設置されました。

どういった支援・役割があるの？

- 自殺に関する情報収集・分析・情報提供
- 自殺予防にかかわる人材や団体の育成（従事者研修等）
- 関係機関との連携・調整
- 自殺を考えている方や遺族（遺児）等の相談
- 遺族の分かちあいの会（こころ・つむぎの会）への支援

相談方法は？

電話相談、来所相談
対象者 自殺を考えている方や自死遺族を含めた、悩んでいる方々
相談日 月、木曜日（祝日除く）
 9:00～12:00、13:00～16:00

お問い合わせ先
 ●専用電話：099-255-1282（ヒトにハートに）
 鹿児島県精神保健福祉センター内
 ●鹿児島市都元3丁目3-5 ●TEL：099-255-0617

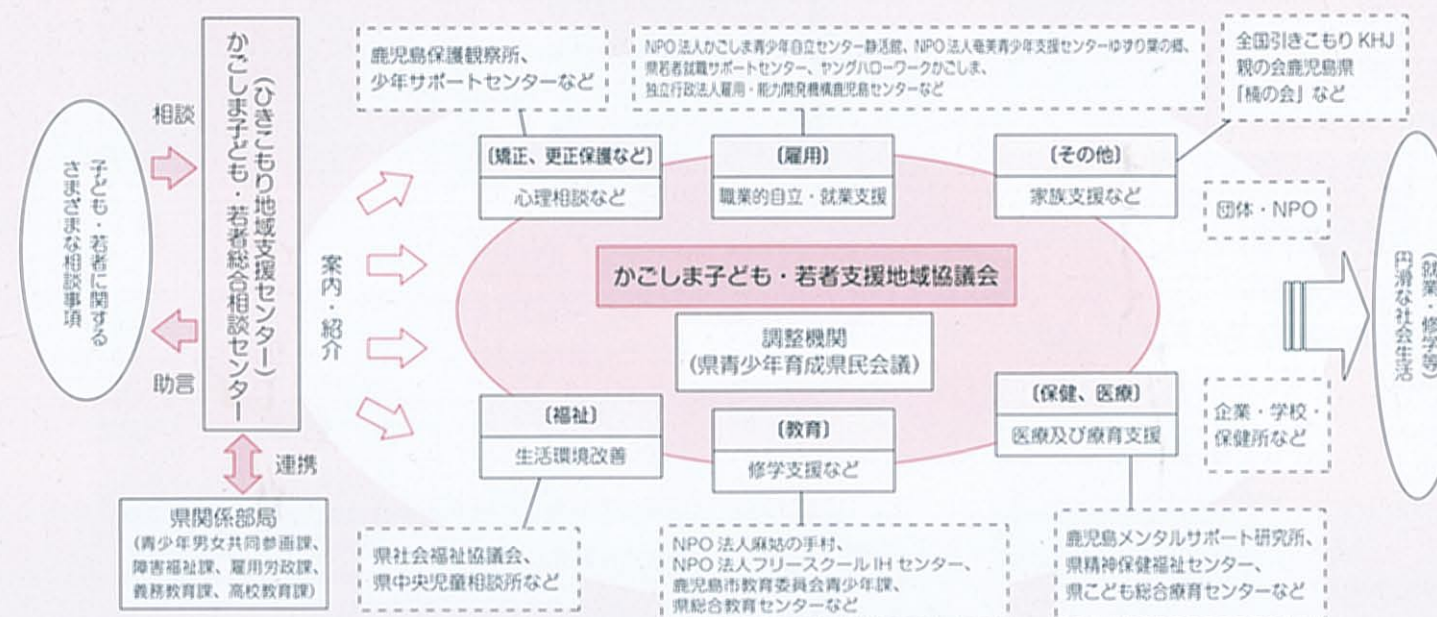
交通（バス停）都元バス停から徒歩1分
 （市電）都元電停から徒歩3分
 （JR）南鹿児島駅から徒歩10分 *駐車場あり（約10台）

機関からのメッセージ

・ひとりで悩んでいませんか？もし悩んでいましたら身近な信頼できる方にお話ししてください。自殺予防情報センターでもお話をうかがっています。
 ・自殺を考えている人は、悩みながらもサインを出しています。そんな人が身近にいたら、どうぞ、じっくり耳を傾けてください。悩みが深刻な場合は、相談を受けた方も「あなたのことが心配だから」と、各専門相談窓口につなぎましょう。
 ・家庭や地域、職場などで支え合う環境づくりが大切です。

相談センター（ひきこもり地域支援センター）

子ども・若者育成支援の流れとは？



※複数の支援分野を対象としている機関・団体については、主に対象とする支援分野に区分して掲載しています。

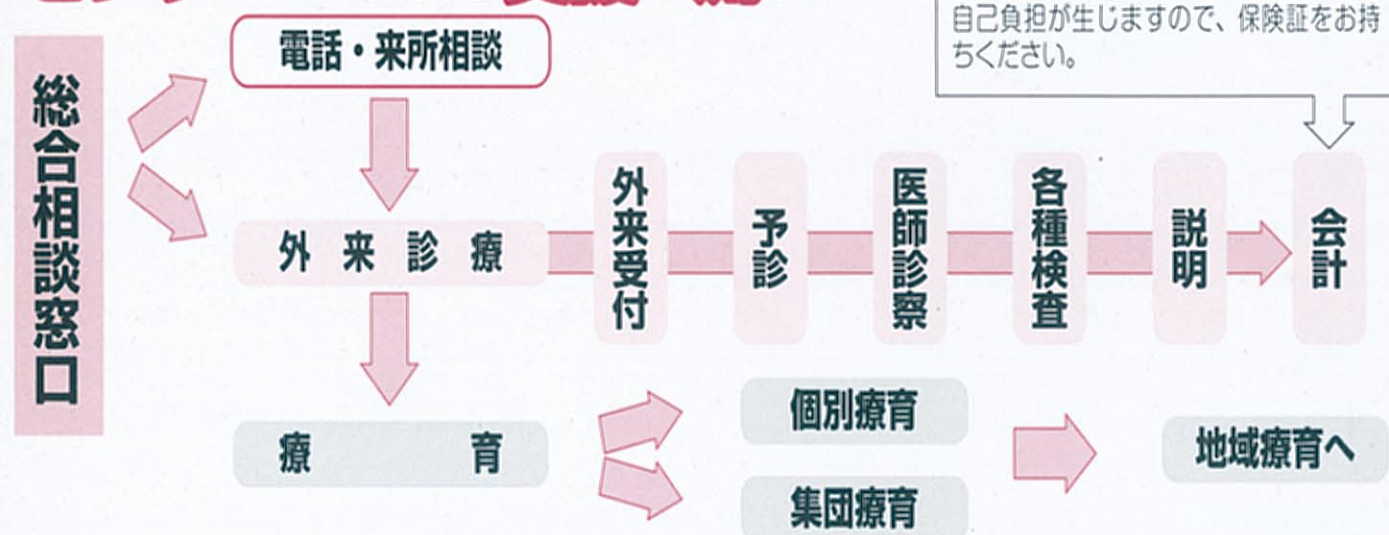


鹿児島県こども総合療育センター

平成22年6月1日から本格的に業務を開始しており、こどもの心身の発達に関する保護者や地域からのさまざまな相談に応じるほか、発達障害、知的障害、肢体不自由またはその疑いのある子どもを対象に、医師が診療を行う診療所機能、作業療法士などの専門職種が訓練を行う療育機能、保健師等が関係機関と連携して地域療育の支援を行う機能などを持った公的機関です。

相談の流れとは？

センターにおける支援の流れ



発達障害者支援センター（鹿児島県こども総合療育センター内）

発達障害者支援法に基づき、発達障害児（者）に対して、ライフステージに応じた支援を行います。こども総合療育センターに併設されており、青年、成人の方からの就労や生活に関する相談にも応じています。

相談方法は？ 電話相談、来所相談

対象者 自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）などの発達障害を有する方、または、その家族及び関係する方々

相談日 月～金曜日 8：30～17：15

お問い合わせ先 ●専用電話：099-264-3720

どういった支援・役割があるの？

- 相談支援
発達障害児（者）及びご家族等からの相談
 - 発達支援
発達に関する相談や情報提供
 - 就労・生活支援
就労・生活に関する相談や情報提供
 - 啓発・人材育成
発達障害児（者）等への理解を深めたり、支援者を育てるための研修会などを開催
- ※発達障害者支援センターでは、発達障害に関する相談や支援を行っており、診断は行っていません。

機関からのメッセージ

自閉症などの発達障害は、親と子の1対1の場面では気づきにくいこともあります。通常、年齢の低い段階から、さまざまな形で子どものしぐさや行動にその特徴が現れてきます。市町村が実施する1歳6ヵ月健診や3歳児健診などの乳幼児健康診査は必ず受診しましょう。また、親として気になることがあれば、まずは身近な市町村の保健師に相談してみてください。

親が自分の子どもの特性を理解し、適切な支援を早く始めることで、さまざまな問題の発生を防ぎ、愛情深く子育てしていくことができるようになります。

相談方法は？ 電話相談、来所相談

対象者 障がい児全般、その保護者、関係者

相談日 月～金曜日 8：30～17：00

お問い合わせ先 ●相談・予約専用電話：099-265-2400

※おおむね15歳（義務教育終了前）までの相談と診療予約になります。16歳以上の青年期・成人の生活、就労に関する相談は、発達障害者支援センターで行っています。

なお、発達障害者支援センター（TEL：099-264-3720）は、こども総合療育センターに併設されています。

●鹿児島市桜ヶ丘6丁目12 ●TEL：099-265-0005

交通（バス停）桜ヶ丘南バス停から徒歩7分

桜ヶ丘東小前バス停から徒歩4分

（市電）協田電停下車。協田電停前バス停または宇宿小前バス停からバス利用

（JR）宇宿駅下車。宇宿小前バス停からバス利用

*駐車場あり（約20台）

どういった支援・役割があるの？

- 相談・支援機能
障がい児全般にわたる相談窓口
- 発達障害児、知的障害児及び肢体不自由児の支援機能
 - ・医師による診療及び心理士等の専門職種による診断に必要な検査
 - ・心理士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士等による専門的な療育及び保護者の支援
- ※こども総合療育センターでの診療等については、医療保険の適用により窓口での一部自己負担が生じます。
- 地域療育の支援機能
地域の療育機関の人材育成や身近なところで子どもを支援できる体制作り

鹿児島県精神保健福祉センター 高次脳機能障害者支援センター 自殺予防情報センター



国道225からも玄関が見えます。
（ファーストフード店とガソリンスタンドの間にあります）



大きな看板もあってわかりやすくなっています。

かこしま子ども・若者総合相談センター （ひきこもり地域支援センター）



あたたかい光が入り込んで、明るい雰囲気の相談室があります。

鹿児島県こども総合療育センター



駐車場が多く、館内に入るとすぐに受付もあるので入りやすい建物です。



診察室には、マットがあり、こどもの行動を含めて総合的にみることができます。



プレイルームがいくつもあり、療育等を行います。

公益社団法人 認知症の人と家族の会

家族の会の理念とは？

「認知症になったとしても、介護する側になったとしても、人としての尊厳が守られ日々の暮らしが安穩に続けられねばならない。認知症の人と家族の会は、共に励ましあい助け合って、人として実りある人生を送ると共に、認知症になっても安心して暮らせる社会の実現を希求する。」

①活動を始めたきっかけは？

認知症（当時は痴呆）についての知識や社会的な理解がなく、介護に苦しみ悩んでいた家族が、思いを話したり情報を交換するために集まって、平成1年1月に「痴呆性老人を支える家族の会」を作りました。

やすらぎの木の下に集まって支え合おうとの思いから、会の愛称を「やすら木会」と決めました。

②活動経過は？

平成5年、京都を本部とする家族の会に加入、現在鹿児島県支部として活動しています。平成22年6月現在、全国で45支部約11,000人の会員がいます。

③現在の活動内容は？

つどい…年6回（偶数月）に開催。会員だけでなく、認知症について学びたい方、介護者の話を聴きたい方など誰でも参加できます。

電話相談…毎週火・水・金曜日の10時～16時まで認知症に関するあらゆる相談を受けています。（来所相談も可）

会報発行…年6回（奇数月）発行して、集いの報告や認知症に関する情報・行事の案内などをお届けしています。（本部会報は毎月発行）

その他…認知症の理解と本人・介護者への支援を得るために、世界アルツハイマーデー（9月21日）に伴う街頭活動や講演会の開催、医療・保健・福祉などの関係機関との連携を図りながら、広報・啓発活動に努めています。

④問い合わせ先

鹿児島市鴨池新町1-7 県社会福祉センター内
TEL・FAX : 099-257-3887

家族の会では、主に会議室を利用させていただいていますが、機器の整備や部屋の環境、職員の皆さん行き届いた対応など安心して使えます。

また、喫茶スペースでは食事ができますし、家庭的な雰囲気は心が休まります。交通機関も便利です。多くの方に知ってほしい施設です。



平成22年4月～平成22年9月

講座・イベントの紹介



はーと・ぱーく利用者の方々と交流をしながら、模擬店、演芸、じゃんけん大会という盛り沢山のイベントを楽しんでおられました。
鶴池町内会「敬老を祝う会」より (^_^)/

落語、模擬店、音楽演奏など盛り沢山の内容で、たくさんの方にご参加、ご来場いただきました！
れいんぼうフェスタ2010より (^_^)/



パソコンに付属している「ペイント」を使って絵を作成しました！
パソコン講座①より (^_^)/



オリジナルのハンカチボーチとおしぼりタオルで出来るワッチャんです
まちかど交流講座②より !!(^^)!

★冷麦バイキング
★おにぎり
まちかど交流講座③より (^_^)/



講座の詳細については、<http://www.kouryu-center.org/> に掲載しています。

私の「おすすめすぽっと」 vol.9

鹿児島港本港区北埠頭ボードウォーク

Sさん推薦の
耳よりスポット



鹿児島市のウォーターフロントゾーン北埠頭の西側、水族館のすぐ裏にあるのが北埠頭ボードウォーク（しおかぜ通り）。目の前には錦江湾と桜島が臨め、潮風に吹かれながら海辺の散策や随所に設けられているベンチから桜島フェリーが行き交う風景を楽しむことができる。

また、夕暮れ時やライトアップされる夜は、デートスポットとしてもおすすめの遊歩道。



〈交通アクセス〉

- バス 市営バス・鹿児島交通「水族館前行き」にて（JR 鹿児島中央駅からシティビューで15分）
「かごしま水族館前」下車徒歩5分
 - 電車 「水族館口」下車 徒歩15分
（市電乗り場より「鹿児島駅前」行きの電車にお乗りください）
 - 車 九州自動車道ご利用の場合
薩摩吉田IC又は鹿児島北ICより鹿児島市内方向へ約20分
国道10号線 城山入口交差点より港方面へ約0.7km
- ※駐車場※ 県営第一・第二・第三駐車場 等
普通車1時間まで無料（1時間を超えると1時間毎に200円）
大型車1時間まで無料（1時間を超えると1時間毎に610円）
（大型車は県営第三駐車場のみ）



Book Information



「愛されたいのに・怖い」「あの人は嫌い。でも好かれない」なぜ矛盾した気持ちが生じたのか。解決策は「自分が変だ」と責め、我慢し、努力することではない。機能不全家族の問題に数多く取り組んできた著書の一冊。

あなたが一番になりたくて
AC (アダルトチルドレン) と対人恐怖

著：外川智子 現代書林 定価1300円 (税別)
ISBN978-4-7745-1211-2



話題となったコミックエッセイの第2弾。ツレは、3年間の闘病生活を妻とともに乗り越えて回復。病気の前とは変わっていくツレと妻。どのような経過を経て変わっていったのか、それぞれを描く。

その後のツレが
うつになります。

著：瀬川龍々 幻冬舎 定価457円 (税別)
ISBN978-4-344-41303-0



幼少期には目立たず、社会に出て初めて気づくこともあるのがアスペルガー症候群の特性の一つかもしれない。コミュニケーションの特徴、職業上の課題など、図やイラストを使いながら分かりやすく解説。

大人のアスペルガー症候群

著：佐々木正美 梅永謙二
講談社 定価1300円 (税別)
ISBN978-4-06-278956-1

平成22年度後半の主な講座・イベントのお知らせ

	イベント	日程	対象
10月	支援者を囲む茶話会 講師 赤崎安隆氏 (赤崎病院院長)	17日(日) 10:00~12:00	鹿児島市在住で精神障がいのある方の家族
	まちかど交流講座④「手づくり」	31日(日) 10:00~12:00	鹿児島市民
11月	はーと講座「パソコン」	毎週土曜日 (予定)	精神障がいのある方
	精神保健福祉講座②「うつ病」 講師 福元晋一郎氏 (松下病院精神科医)	15日(月) 14:00~16:00	鹿児島市民
12月	まちかど交流講座⑤「クッキング」	18日(土) 13:00~16:00	鹿児島市民
	支援者を囲む茶話会	日程未定	鹿児島市民
平成23年 1月	はーと講座「パソコン」	毎週土曜日 (予定)	精神障がいのある方
	精神保健福祉講座③	日程未定	鹿児島市民
2月	精神保健福祉講座④	日程未定	鹿児島市民
	まちかど交流講座⑥「クッキング」	日程未定	鹿児島市民
3月	みんなのための「SST」 講師 高森信子氏 (SST リーダー)	26日(土) 14:00~17:00 27日(日) 10:00~16:00	精神障がいのある方 鹿児島市民
	はーと講座「ピアカウンセリング」	日程未定	精神障がいのある方

◇開講する講座・イベントの内容については、変更することがあります。詳しくは下記までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

鹿児島市精神保健福祉交流センター (はーと・ぱーく)

精神障害者の方々の社会参加を図る講座や市民との相互交流を深めるイベント、相談などを行っています。

鹿児島市鶴池2丁目22番18号

TEL 099(214)3352 FAX 099(206)8571

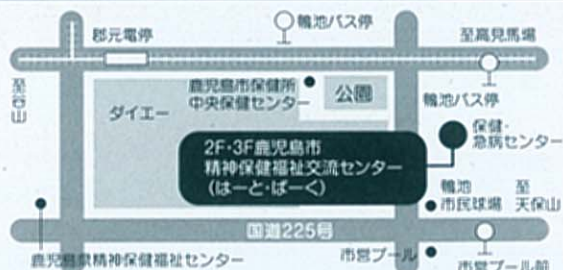
URL: <http://www.kouryu-center.org/>

開館時間 9:00~21:00

休館日 毎週火曜日 年始年末 12/29~1/3

※ご利用についてはお問い合わせいただくか、またはホームページにてご確認ください。

MAP・交通アクセス



市営バス 14 19 番線 鶴池バス停下車
11 12 15 18 番線 市営プール前下車

市電 「郡元」電停下車

駐車場 駐車場には限りがありますので、なるべく公共機関をご利用ください。
※特に夜間等は「夜間急病センター」ご利用の方で参りますのでご注意ください。